主催：乙女高原ファンクラブ・山梨市・山梨県

第24回 乙女高原フォーラム



2027年1月31日（日）
午後1時 ～ 3時30分
夢わーく山梨（地図裏面）
参加費 無料

できるだけ事前申し込みをお願いします
後日、本フォーラムのユーチューブ動画アドレス等をメールでお伝えします。

【テーマ】
クマ問題を、みんなで考えよう
～ツキノワグマの生態とつきあい方～

最近、日本各地でクマ出没が大きな社会問題になっています。残念ながら人命が失われたり、市街地にまで現れるケースもあります。乙女高原でクマ出没は確認されませんでしたが、念のため、昨年(2025年)秋の「草刈りボランティア」は中止となりました。

ツキノワグマは本州最大の野生動物です。爪は丈夫、力も強いので、出会ったらひとたまりもありません。一方で、日本の生態系の昔からの一員であり、植物のタネを広範囲にばらまくなど、日本の生態系が正常に機能するための大切な役割を担っています。また、温暖化、少子高齢化や過疎化による耕作放棄地の増加など、クマ問題の背景を意識しなければ、問題の解決は難しいと思われます。

今回のフォーラムでは、ツキノワグマの特徴や暮らしぶりをときに広く、ときに深く探ります。そして、どうすれば上手につきあっていけるかを、みんなで考えましょう。

今回のスペシャルゲスト
小池 伸介さん



こいけ しんすけさん。
1979年、名古屋市生まれ。東京農工大学大学院農学研究院・教授。博士（農学）。専門は生態学。現在は、栃木県・群馬県の足尾・日光山地、神奈川県丹沢山地などにおいてツキノワグマの生態や森林での生き物同士の関係を研究している。著書に『ツキノワグマのすべて』（文一総合出版）、『ある日、森の中でクマさんのウンコに出会ったら』（辰巳出版）、『タネまく動物』（編著、文一総合出版）など。2024年よりNGO日本クマネットワークの代表も務める。